

指導しやすく評価しやすい教科書

- **JUMP** でめざす姿をもとに、バックワードデザインで指導場面と評価場面を設定しました。
- 一年間に3回の **JUMP** を設定し、何度もくり返し言語活動をして、児童の力を十分に高めたところで評価をします。
- 児童に **JUMP** でめざす姿が児童にわかるように、動画やサポート資料を工夫しました。



評価時期・方法を厳選！

- ◆ 指導場面を十分にとり、評価の時期や方法を厳選したことで、適切な評価をおこなうことができます。



児童にもわかりやすい評価基準！



発表ややり取りのモデルは、A評価・B評価を想定したものを用意しました。二次元コードからアクセスできる教科書ウェブサイトで、児童が必要に応じて確認することができます。



JUMP の発表では、配布用ルーブリックを用意します。

- ★がんばりたいことに○をしよう。
- ◎発表の内容について
- ・あいさつをする。
 - ・名前を伝える。
 - ・みんながあまり知らないことで、伝えたいことの数。
- ◎聞いている人に対して
- ・伝わっているか、みんなの様子を見ながら話す。
 - ・伝わっていないさうなら、くり返して言う。
 - ・みんなはどうなのか、問いかける。
- ◎伝え方
- ・みんなに思いが伝わるように、内容や文の順番を考える。
 - ・みんなに思いが伝わるように、絵や写真などの使い方を工夫する。

安心の評価サポート！



指導書

指導書では、各レッスンの評価計画・評価基準を提案しています。指導案では、規準に達していない場合の指導方法を提案しています。

指導案の例

・もう一度見る。	・もう一度 Let's Watch を見て、内容を確認させる。
例 Watch again	この教科書ウェブサイトでは、発表のモデル、評価、発表の順序に気づいているか、聞くことの知識・技能の指導として、Let's Watch から Let's Listen をひと続きと考える。Let's Listen で聞くことに慣れ親しむので、ここでは気づきについて無意識に評価する。気づいていない場合は Let's Watch をもう一度見せたり、途中で止めるながら指導者が読みをくり返して聞かせるなどして指導する。(記録に際して評価はレッスン末テストでおこなう)

2種類の確認テスト

指導と連携した2種類のテストを用意します。
チェックタイム：レッスン末に実施。「聞くこと」「読むこと」の知識・技能を確認。
チャレンジタイム：ユニット末に実施。「聞くこと」の思考・判断・表現と「書くこと」の知識・技能を確認。

